

やないづ 議会だより



Yanaizu
No. 182
2025.05.30

令和7年春 桜の福満虚空藏菩薩圓藏寺

Topics

3月定例会 3月5日～3月14日	
子算特集	2
3月定例会審議	8
一般質問	10
議会活動	12
ちよつと一言 など	16

町長の施政方針演説

令和7年第1回定例会の初日（3月5日）、議案審議に先立ち、小林町長より、令和7年度の施政方針について示されました。その演説は、1時間近くに渡りましたが、その概要についてを、簡潔に要約しご紹介いたします。

◇ ◇ ◇

本日、令和7年第1回柳津町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては年度末の何かとお忙しい中、御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、先日、ご逝去された、伊藤純副議長に哀悼の意を表しますとともに、これまでのご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本定例会におきましては、条例の制定・改正、令和6年度の補正予算及び令和7年度予算等の重要な案件を御審議いただくところでありますが、開会にあたりまして、町政運営の基本的な考え方や、令和7年度に取り組む主要な事業を第六次柳津町振興計画に基づき、ご説明いたします。

各政策における各施策の概要として、
「豊かな心を育むまちづくり」政策の「学校教育の充実」の施策では、町の将来を担う子どもたちが将来を生き抜く基礎を身に付けることができるよう、教育環境の整備を図って参ります。

「生涯学習の充実」の施策では、各種事業を通して世代に応じた学習が行えるよう取り組んで参ります。

「生涯スポーツとレクリエーションの推進」の施策では、年齢や体力に応じた活動が行えるよう町民の意向を踏まえながら各種事業に取り組んで参ります。

「地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興」の施策では、石生前遺跡等の出土品の整理・記録を進めて参ります。また、町内の未指定文化財の調査を進めるとともに、地域の保存食をはじめ、失われつつある伝統文化の調査・記録・発信により、郷土愛の醸成とまちづくりへの利活用を進めて参ります。

やないづ町立斎藤清美術館におきましては、町内外を問わず多くの人たちが、豊かな感性を磨き、教養を高め、郷土愛を育める教育施設として運営して参ります。

「健康で安心して暮らせるまちづくり」政策の「子育て支援の充実」の施策では、健康相談等を切れ目なく継続的に実施し、母子保健と児童福祉の双方に係る相談を充実させるための体制を整備し、関係機関と連携して支援に取り組んで参ります。経済的な支援として、出産・子育て応援金を支給し、子ども医療費の助成や頑張れ子育て応援金の支給、ゼロ歳児からの保育料無料化、全入所児の完全給食、小中学校における給食費の無償化をそれぞれ継続して参ります。食育の推進として、栄養バランスの取れた安全安心な給食を提供し、地産地消を推進するため、町産農産物を積極的に使用して参ります。保育サービスの充実として、経済的負担軽減策と、多様化する家庭環境に対応する子育て支援を柳津町子ども子育て支援事業計画に基づき、一層充実させて参ります。

「健康づくりの推進」の施策では、集団健診・施設健診等の確保と受診率向上に努め、治療が必要な方への保健指導を実施し、生活習慣病発症予防、重症化予防に取り組んで参ります。

「高齢者及び障がい者福祉の充実」の施策では、住み慣れた地域で安全に安心して暮らしていけるよう、医療・介護・住まい・生活支援を一体的に提供して

いく地域包括ケアシステムの構築に取り組んで参ります。

「地域医療体制の充実」の施策では、診療所が、近隣の医療機関と連携し、在宅医療、訪問看護等を実らせ、信頼できる医療機関となるよう努めて参ります。

「火災・災害対策の強化」の施策では、町民の生命、身体及び財産を守り、地域の安全・安心を確保するため、自助・共助・公助による消防・防災体制の強化を推進して参ります。

「交通安全・防犯対策の強化」の施策では、事故、犯罪等の被害を受けることなく、安心して生活できる環境を整備するため、警察や関係機関と連携して安全安心な地域づくりに努めて参ります。

「活力ある産業と賑わいと交流のあるまちづくり」政策の「農林業の振興」の施策における農業では、高齢化による担い手の減少、物価高騰や電気料金の値上げ・近年の異常気象により、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しているところであり、「地域計画」に位置付けられた認定農業者や園芸作物や花き栽培農家に対し、継続して経営規模の拡大や農業所得の向上のための各種支援や整備等を実施して参ります。

「観光の振興」の施策では、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光入込数は増加傾向にあり、引き続き、台湾を中心としたインバウンド施策を始め、観光プロモーションや受入体制の整備、誘客イベント等に関係団体と連携を図り、魅力ある観光地づくりを推進して参ります。

「商工業の振興」の施策では、新型コロナウイルス感染症の影響による運営資金融資の返済が行われていることから、引き続き事業者への支援を実施して参ります。また、新規起業家への支援、町内事業所の後継者に対する支援の拡充のほか、物価高騰対応

重点支援地方創生臨時交付金を活用したプレミアム商品券の発行支援により、商工業振興を図って参ります。

「移住・定住・交流の推進」の施策では、住宅新築補助や個人住宅の改修補助「住まいづくり支援事業」を実施して参ります。また、公営住宅維持管理事業においては、「公営住宅長寿命化計画」に基づき適切な維持管理を進めて参ります。後継者対策としては、結婚された方に祝い金を支給し、また、新婚世帯の新生活をはじめめるうえで必要な経済的支援を実施して参ります。さらにSNSを活用した情報発信等により積極的に地方移住への働きかけを進めて参ります。空き家対策につきましては、危険空き家の解体除却補助を継続しつつ、改修費用や家財処分費用の補助を拡充し、空き家の積極的な利活用を促進して参ります。また、宅建協会と連携した空き家バンク事業を推進し、不動産登記の義務化及び空き家の管理について所有者に周知を図ると共に、空き家物件の情報収集や情報提供を積極的にを行い、移住・定住への受け入れ体制を整備して参ります。また都市との交流事業として、姉妹都市新潟県出雲崎町や東京都港区お台場地区との交流事業を実施して参ります。

「快適でうつくしいまちづくり」政策の「道路網の充実」の施策では、町道五疊敷大成沢線及び屋敷添南沢線の改良工事を進めると共に、長寿命化計画に基づく橋梁の補修設計及び修繕工事の実施、緊急雇用創出事業も活用した上で、各地区からの要望に対応した道路の迅速な維持修繕を実施して参ります。また、国・県道の整備についても、あらゆる機会を通じて積極的に働きかけて参ります。

「廃棄物処理の推進と環境保全」の施策では、廃棄物排出量の増加は、町民の負担にも影響することから、生ごみ処理機等の購入に対して補助を実施し、

廃棄物の減量化の取り組みを強化するとともに、今後の見通し等について情報発信を行い、町民や各事業所等、お互いに協力・連携・支援していけるよう努めて参ります。

「景観の保全と形成」の施策では、越後三山只見国定公園内を中心に除草作業や支障木の伐採などを行っていくとともに、桜の撫育や花植えなどを継続して参ります。

また、昨年策定された歴史的風致維持向上計画で定めた基本理念に基づく景観計画の策定を進め、今後の事業について、町民の皆様より広くご意見を伺いながら、柳津町の魅力を活かした、美しい景観を形成して参りたいと考えております。

「上水道・下水道の充実」の施策では、大成沢・胃中地区簡易水道の新たな施設の早期完成に向け、令和五年度より工事に着手しており、令和七年度におきましては、博士林道の舗装本復旧を行い、年度内の供用開始を目指しております。また、柳津配水池において、自然災害の影響により水の濁り等が生じた場合に備え、膜ろ過方式の浄水施設を整備するため、令和七年度に測量、地質調査、実施設計業務を予定しております。

「公共交通の充実」の施策では、町民バス運行事業実施にあたり、安全・安心を第一に車両管理・安全運行の励行に努めて参ります。また、公共交通の見直しを図るべく、広域バスや鉄道との連携強化、関係機関との協働を進め、広域的移動手段として機能するようにして参ります。

「再生可能エネルギーの推進」の施策では、住宅用太陽光発電設備や薪ストーブ等の設置補助を継続し、脱炭素への取り組みを支援して参ります。

「デジタル化の推進」の施策では、行政手続きのオンライン化や生成AI等の活用による業務効率化を進め、便利で質の高い住民サービスの提供を目指し

て参ります。

「協働による健全で開かれたまちづくり」政策の「地域コミュニティの維持・活性化」の施策では、地域活動の担い手育成や新たな地域づくり活動への支援を強化し、持続可能な地域コミュニティの形成を推進して参ります。

「広報・広聴活動の推進」の施策では、すべての町民に町政情報を伝えられるよう、町民ニーズに合った広報誌の発行に取り組みます。また、町民の皆様の声を町政に反映させるため、対面での意見交換の場とデジタルツールを活用した広聴機会の創出により、幅広い世代の意見を丁寧に向う体制を構築して参ります。

「財政健全化の推進」の施策では、多様化する住民ニーズに耳を傾けながらも、一般財源及び経常経費の抑制に努め、投資的経費は、今後の財政状況を的確に予測し財政運営を図って参ります。また、「ふるさと納税」寄附額をさらに増加させるため、返礼品の充実や納税しやすい環境整備に努めて参ります。

「効果的・効率的な行政運営の推進」の施策では、適切に業務を執行し、効率的で質の高い行政サービスが提供できる体制整備を推進するため、業務の効率化を図るとともに、施策評価等を実施し、課題解決に向けて取り組んで参ります。

以上、第六次柳津町振興計画に掲げました、「みらい創生。ひと・ゆめ・れきしをつなぐまち」を実現するため、五つの基本政策を軸として、総合的、計画的に各施策に取り組み、様々な分野において直面する課題や、複雑多様化する町民のニーズに的確に答えていくものであり、限られた財源を最大限に活かしていく、令和七年度の予算編成を行って参ります。



令和7年
第1回定例会

令和7年度当初予算を可決!

一般会計42億9,000万円 特別会計合計11億6,108万円
前年度比1億1,678万円(2.2%)の増

【重点的に実施する事業の一部を厳選して、ご紹介しております】
詳細につきましては、広報やないづVOL.685 をご覧ください

学校・地域スポーツアドバイザー事業

2,951千円

学校・地域スポーツアドバイザーを配置し、学校部活動の地域移行とその展開を推進するため指導助言としっかりした運営体制の整備をする。

斎藤清美術館 特別企画展開催事業

2,388千円

「コレクターズ」の第2弾。
美術館未収蔵作品を中心とした、個人が収集した作品展を開催する。



総合健診事業 12,381千円

疾病の予防・早期発見のために集団検診を実施する。



地域農業担い手 経営支援事業

11,855千円

中心経営体が経営面積の拡大等に要する農業機械等への支援。



空き家対策事業

5,211千円

空き家解体除却事業、空き家改修等支援事業、空き家家財道具等処分費補助金の実施。また義務化された登記の費用に係る補助を行う。



ごみ減量化推進事業補助金

1,000千円

ごみの減量を目的として、生ゴミ処理機等の購入費の補助を実施する

景観計画策定事業

7,602千円

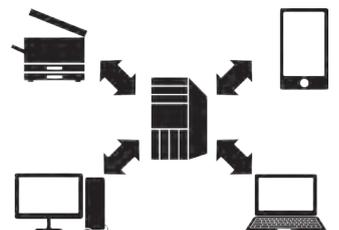
歴まち計画認定を受け景観を活かしたまちづくりを進めるため町民への普及活動、景観計画策定を行う。



DX (デジタル改革) 推進事業

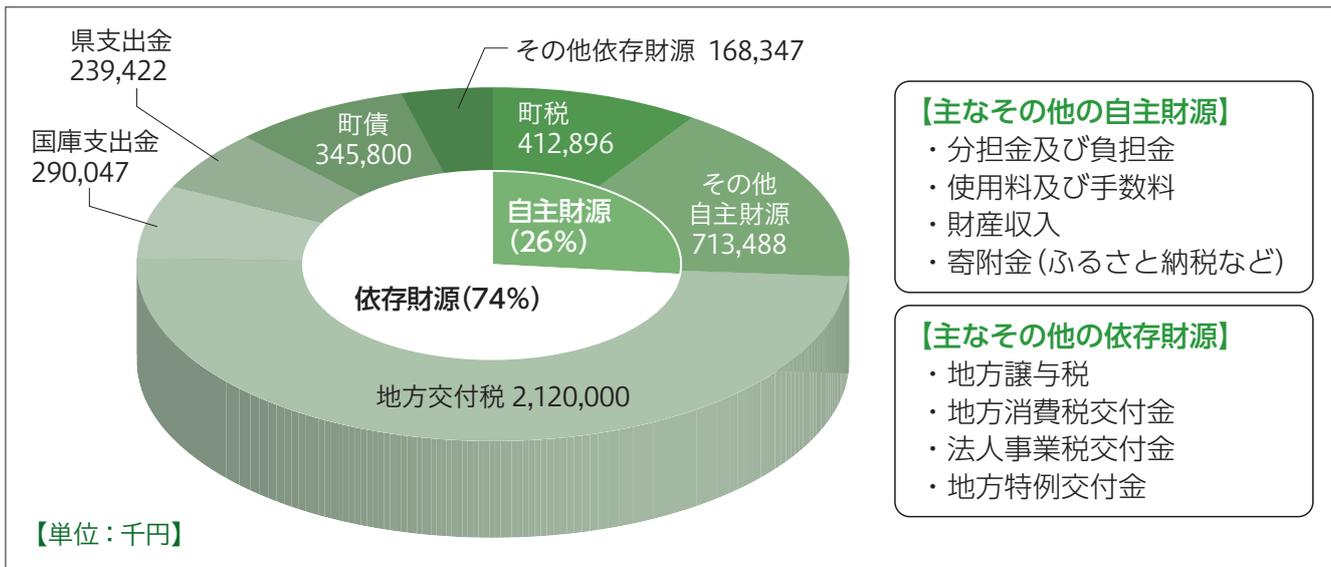
2,327千円

DX 推進本部を中心にDX推進計画に基づいた事業を執行し、庁内のDX化を図る。

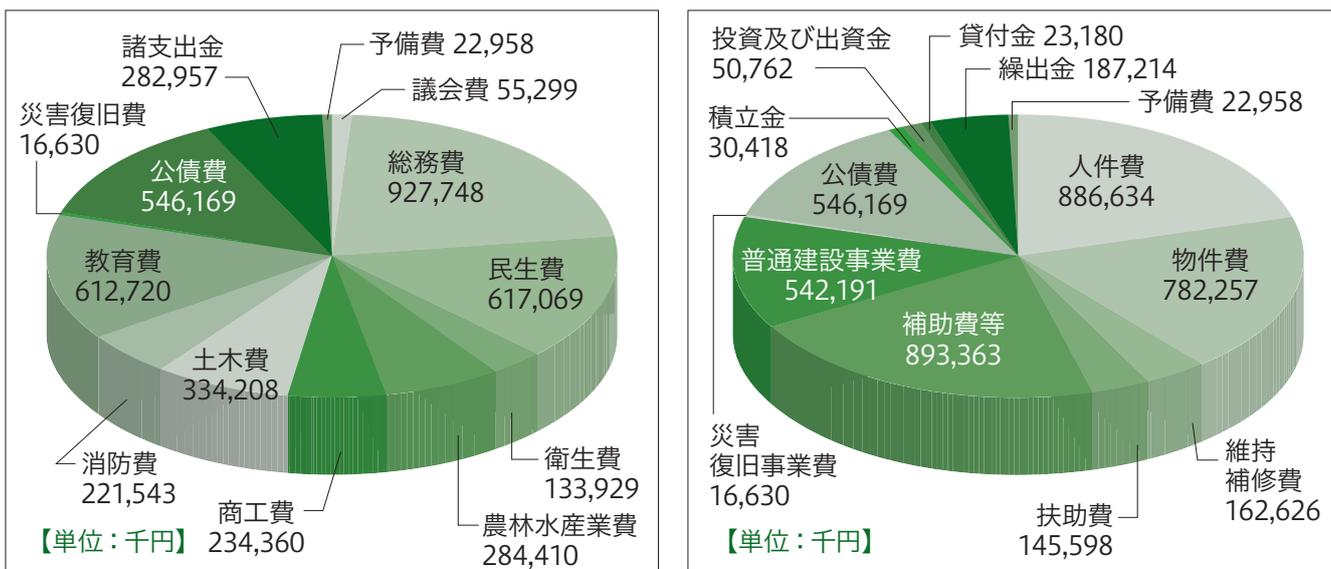


当初予算

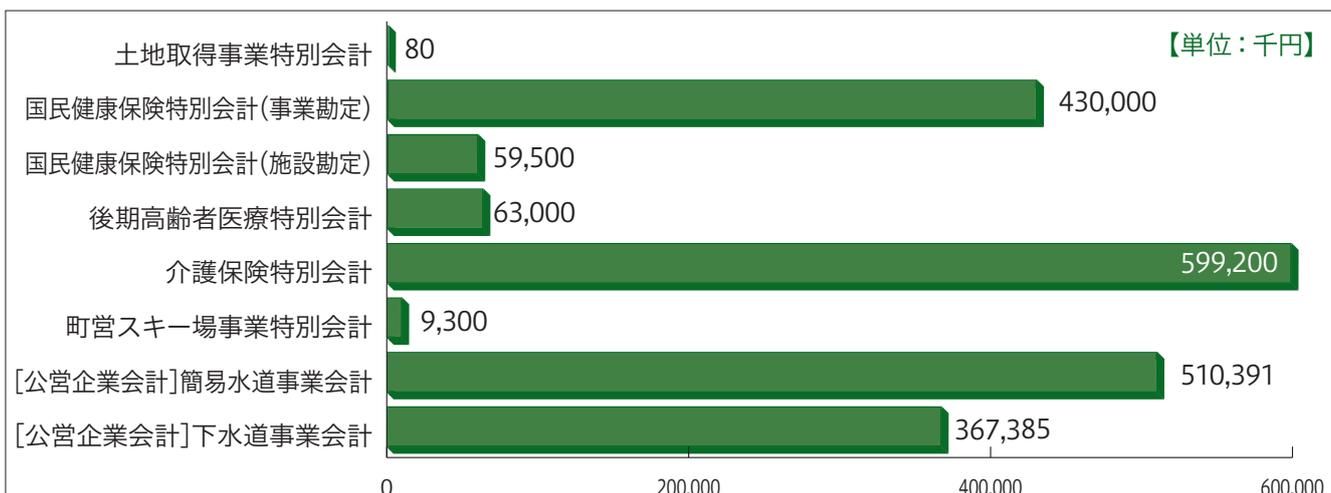
令和7年度一般会計歳入(財源別) 4,290,000千円



令和7年度一般会計歳出(目的別・性質別) 4,290,000千円



令和7年度特別会計・企業会計予算(5特別会計、2企業会計)



令和7年度

予算特別委員会 質疑

(質疑の一部を抜粋して紹介します)

Q システム使用料について

国が進める統一的なガバメントクラウドシステムの使用料が3,400万円ほど計上されているが、毎年必要な経費になってくるのか。

A 経常的な経費になる予定

毎年必要な経常経費になる予定。システムの構築費用は国の補助があるが、運用経費については、今のところ出ない予定である。

Q 公共交通の見直し予算について

町民バス予算に公共交通の実証実験等の経費が計上されていないが、どのようなするのか。

A 色々な意見を基に判断したい

昨年から公共交通見直しのワークショップを開催しており、委員の方からの意見をいただいているが、運行事業者や利用者等の現場での意見も整理して、どのような運行形態がいいのかを判断して、実証実験を始めていきたい。



Q 景観形成支援委託料について

昨年度の倍以上の予算だが、町民との合意形成が先に必要なのではないかと。町民の気持ちが入らない計画になりはしないか。

A 計画の基礎データ作成のため

景観計画策定委員には町民の方も入る予定。委託料の倍増は、西山地区の調査も入っているため、景観計画策定の基礎となるデータ作成のための調査料となっている。

Q 特定地域づくり事業組合運営支援金について

設立して2年半が経過したが、3町村での事業継続に対する効果測定はどうなっているのか。

A できるだけ続けていきたい

この制度は時限立法ではなく、恒久的な制度。制度がある限り、続けていきたいが、現在2名の雇用であるので、効果測定も必要ではないかと感じている。

Q 令和7年度の予算編成について

施策方針では、限りある財源を最大限に活かしていきたいという事だが、どのように財源を確保し、充当したのかを伺う。

A 事業を切り詰め対応した

歳出が多く、苦勞した。やりたい事業を抑え、やるべき事業を吟味した。脆弱な自主財源をどのようにしていくのかを考えながら、編成した。

Q 重点事業の予算配分について

なかなか、厳しい予算編成だったと聞いているが、重点事業への予算額が昨年度とあまり増えていない。考えを伺う。

A 効果的な見直しを行いたい

予算の範囲内で小規模の実証実験を行い、検討を繰り返して成果に繋げていきたい。

Q 財政調整基金の運用計画について

とある自治体では、財政調整基金の枯渇が見られ、運営の方針転換を余儀なくされた。中長期的な財政プランについて伺う。

A 基金を温存していく

財政調整基金は自治体の運営に無くてはならない基金。なるべく国県補助金を使用して単費での支出を抑える努力をし、基金を温存していきたい。
※財政調整基金…財源不足や天災や経済状況の著しい変動（インフレなど）に備えるための積立金

Q 町債（町の借金）と基金残高について

令和7年度予算編成後の、町債と基金残高の見込み額はいくらか。

A

町債は34億5,978万3千円、基金残高は21基金、総額30億5,893万3,648円。

Q 文化財管理費の委託料について

業務委託料1,514万4千円の内容について伺う。

A 2つの事業が予定されている

縄文館活用事業と文化財保存活用地域計画の策定に係る経費の2つになる。

縄文館活用事業では、縄文土器の立体図等の作成や縄文館のホームページ作成、縄文館の説明システムなどを整備していきたい。文化庁の「特色ある埋蔵文化財活用事業」の補助金を活用して進めていきたい。

文化財保存活用地域計画では、未指定の有形無形文化財の有識者による専門的な調査を数年がかりで実施していく予定。

Q 農業支援の財源と地域計画について

中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業などの制度で、里山の風土が保全されていると感じるが、新しく始まった地域計画に対する町単独の予算について伺う。

A 町単独での対応は考えていない

中山間事業は4地区が減り、多目的機能では22地区ということで、地域計画ができた後についても、随時更新していき、関係団体等とよく協議をしていきたい。基本的には財源を見つけてやっていくことが必要で、農家の皆さんと話し合いながら進めていきたい。今のところ町単独の予算については考えていない。

Q 美術館事業費について

美術館の主な経費としては、作品の展示や管理になってくると思うが、学生連携などの外に向かった事業費は足りているのか。

A 大学との連携事業

令和7年度では、武蔵野美術大学、筑波大学、日本大学の学生とのワークショップ等の経費、筑波大学との連携協定により行う事業、また会津短期大学との美術館アートテラス活用事業の検討を進める予算を計上している。

Q 森林利活用ビジョン運営会議委託料について

2日間のイベント開催ということだが、開催内容について伺う。

A 柳津、西山地区で1日ずつ開催

現在のところ、柳津と西山地区で1日ずつ、ミズナラの植樹等と併せて出来ればと考えているが、詳細は未定である。



Q ごみ減量化推進事業補助金について

家庭ゴミと事業ゴミが分けにくい場合があるが、どの様に考えているのか。

A 情報発信を継続していく

自営業の区分けが、あいまいになっている部分もあるかと思うが、コロナ禍が終息したので、観光業等が回復してくれば、事業系ごみは増加してくると予想している。町の減量化の目標値が厳しいので、できる部分から減量化していき、可能ならば資源物の回収もしやすい環境にしたいと考えている。

家庭ゴミと事業ゴミの明確化は難しい部分もあるので、今後も情報発信を継続して行い啓発していきたい。

今回の補助事業については、家庭用の電動生ゴミ処理機の購入補助を想定している。



Q 地域農業担い手経営支援事業補助金について

この補助金の内容について伺う。

A 機械などの導入補助

認定農業者と認定新規就農者または農業法人、集落営農が対象となっている。機械などの導入に対して補助をするもの。個人事業主で補助率10分の2以内、上限100万円。法人では補助率10分の3以内、上限500万円。GAPの取得者は10分の1を上乗せできる。

※GAP…Good Agricultural Practicesの頭文字を取ったもの。農畜産物を生産する工程で生産者が守るべき管理基準と取り組みのこと。「良い農業の取り組み」や「農業生産工程管理」などと訳される。



こんなことを
決めました

第1回定例会の主な議案の内容

令和7年第1回定例会は3月5日(水)から3月14日(金)までの10日間の会期で行われ、条例の制定・改正、当初予算、補正予算、人事などの28議案が審議され、原案どおり可決・同意いたしました。

柳津町学校・地域スポーツアドバイザー設置条例の制定について

令和8年度から本格的になる部活動の地域移行とその展開を推進するため、2年間限定で専門的かつ実践的な立場から指導助言を行う「学校・地域スポーツアドバイザー」の設置に関する条例の制定を可決した。

令和6年度柳津町一般会計ほか、5の特別会計、2の企業会計の補正予算

一般会計を含む8つの会計の補正予算を可決した。

【主な内容】(一般会計) 事業費確定による増減、防災重点農業用ため池(程窪)緊急整備事業の増額 など

(介護保険) 給付費確定による減額 など

(簡下水道) 事業費確定による減額(大成沢水道工事) など

監査委員の選任同意について

代表監査委員、岩佐利昭氏(見識を有する者)が令和7年3月31日で任期満了となることに伴い、新たに新井田博之氏(麻生)を任命することに同意した。

副町長の選任同意について

副町長、矢部良一氏が令和7年3月31日で任期満了となることに伴い、新たに田沼祐二氏(県からの出向)を任命することに同意した。

柳津町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

町選挙管理委員会委員とその補充員が令和7年3月31日で任期満了となることに伴い、新たな委員4名と補充員4名を指名し、これを承認した。

● 3月定例会後の令和6年度予算額

		3月補正後	補正額	
一般会計		45億1,774万3千円	▲9,685万9千円	
特別会計	土地取得	8万6千円	▲21万4千円	
	国保	事業勘定	4億2,693万6千円	▲5,245万3千円
		施設勘定	6,325万9千円	▲355万9千円
	後期高齢	6,135万5千円	▲61万7千円	
介護保険	介護保険	6億4,106万1千円	▲1,962万7千円	
	町営スキー場	909万1千円	▲36万4千円	
公営企業	簡易水道	5億7,985万4千円	▲1,480万8千円	
	下水道	3億9,329万4千円	▲567万円	
合計		66億9,267万9千円	1億9,417万1千円	

【追加議案】職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

福島県人事委員会の勧告に準じて給与と改定を行う条例を可決した。

【主な内容】扶養手当等の増額、給与表の改正など

【追加議案】令和6年度柳津町一般会計補正予算

令和7年2月上旬の豪雪により災害救助法適用され、その除雪に関する経費の増額を求める補正予算を可決した。



議案の審議（3月14日）

定例会の最終日に議案審議を行いました。質疑応答の一部（令和6年度一般会計補正予算）を要約して、ご紹介します。

【質問】観光費の減額について

今回の補正で、商工費について、商工振興費と観光費、合わせて約1,100万円の減額になっている。経済状況の厳しい中、特に観光費は、約560万円減額になっている。財源では、県補助金の観光費補助金でサポート事業補助金が1,783千円減額になっている。この内容について伺う。

【回答】（地域振興課長）

サポート事業として、只見線会津柳津駅でのイベント「あいづやないづモダン駅フェス」を年間2回開催予定であったが、8月の開催が台風のため中止となった。また、只見線モニターツアー業務委託料の中に自転車の購入費用が含まれていた。自転車の購入費用については、備品購入費として予算化していたので、110万円ほど減額になった。さらにシェアサイクルの整備の遅れや自然ガイド養成者申し込みが1名のみだったことによる減額となっている。

【質問】県サポート事業補助金について

今回、事業の実績額が大幅に減額になるということは、県のサポート事業補助金に大きく影響があるのではないかと危惧するが、来年度に向けてどのような影響が考えられるか伺う。

【回答】（地域振興課長）

今年度は、大きく減額になった理由について、県へきちんと説明し変更申請を行った。今後は、確認不足や精査不足がないよう、事業者と1つ1つ確認をして事業の補助金申請を行っていききたい。

※県サポート事業…福島県地域創生総合支援事業補助金

地域を元気にするために住民の皆さんが主役となって行う地域の特性を活かした個性と魅力ある地域づくり事業の立ち上げを支援する補助制度。

一般枠、市町村枠、過疎・中山間地域活性化枠の3つの枠があり、実施される活動の内容や、活動する団体等で活用できる「枠」や「補助率」などが異なる。

【質問】令和7年度に向けた抱負について

県サポート事業については、フレキシブルな面や経済効果が非常に高い事業であると思っている。今後、事業内容、時期、タイミングなど県と相談して、影響のないようしっかりと精査をしていただきたい。最後に、今後に向けての考えをお聞きしたい。

【回答】（地域振興課長）

事業者や関係団体ときちんと精査、協議をしていくことが一番大事だと思う。また、担当課・係の中でも、きちんと事業の計画やタイミング、時期などを協議した上で、事業者や関係団体等との協議に臨みたいと思っている。

【質問】追加案件の一般会計補正予算の予備費について

今回、暫定的に1,182万円の予備費を充当しているが、今後、豪雪による除雪費用等の国からの補助等はあるのか伺う。

【回答】（総務課長）

今後、除雪経費や特別交付税が入ってくる見込みである。

一般質問

【11ページ】 2番 渡邊 俊典 議員

1、町の人口減少に対する取り組みについて

一般質問

町政を問う

※一般質問とは…議員が議長の許可を得て、町の事務全般について質す発言。事務の執行状況や町の方針について報告や説明を求めること。



2月21日開催 県議長会の講師による一般質問勉強会の様子

議会録画映像のお知らせ

委員会代表質問や一般質問の映像は町の公式ホームページから視聴することができます。(町公式ホームページのURLは「<http://www.town.yanaizu.fukushima.jp>」です)



スマホやタブレット端末からも、見ることができます!

(右のQRコードをご利用ください)



町の住宅政策を質します！



2番 渡邊俊典議員

1、町の人口減少に対する取り組みについて

Q 柳津町の人口減少が問題となっている。当町には、住みたいと思っても民間のアパートはなく、公営住宅には様々な要件があり、若い共働きの方や年収が高い方々は住むことができない。また、高校に通うのに列車通学をしたくても駅までの交通手段が確保できないため他町村へ移住してしまう事例が多々あるが、町の将来像をどのようにお考えか。

A (町長) 町の人口減少対策に対する取り組みは、出産・子育て応援金、頑張れ子育て応援金、保育料や学校給食費の無償化などの子育て世代への支援や新築住宅の建築費助成、既存住宅、空き家の改修費用助成など、移住・定住者への支援を実施している。他町村への人口流出を防ぐ手立てとして、町有地を民間の事業者に長期で貸し付け、アパート等を建築・運営してもらえようという制度をつくることを考えている。高校生の通学については、町の公共交通のあり方について協議しているところである。町の人口減少に歯止めをかけることは大変難しい。減少するスピードを少しでも抑える施策や事業を実施していくこと

が必要であると考えている。
Q 公営住宅の太平団地は2棟48戸中13戸空いている。公営住宅法に基づけば、鉄筋コンクリート造で耐用年数70年で半分の35年経過すれば、建て替え等をしてもよいとなっている。充当された補助金関係の縛りをなくすることもできるのではないか。公営住宅に若い人や年収が高い人も住めるようにすべきとお考えか。

A (町長) 年数を過ぎて空き部屋も増えてきたということは、次のステップを考えていかなければならない。補助金の縛りがなくなるということは承知している。今ある建物をいかして、若者が住みたいというような建物にリホームをしていくことなど検討していきたい。人口減少が早く進んでいる現状を鑑みれば、ゆっくりしている時間はないと思う。

A (町長) 今、まさに公共交通の見直しについて

Q 高校生が家から通える通学に関しては、どのような方向にもっていきたいとお考えか。

A (町長) 今、まさに公共交通の見直しについて

て取り組んでいるところ。町の公共交通を考えるワークショップに参加された方々と使いたい人が使いたいときにしっかりと使えるようにするためにはどうしたらよいか考えているところである。

Q 公共交通の見直しは、来年度からやるのか、または、時間をみながら考えているのか。

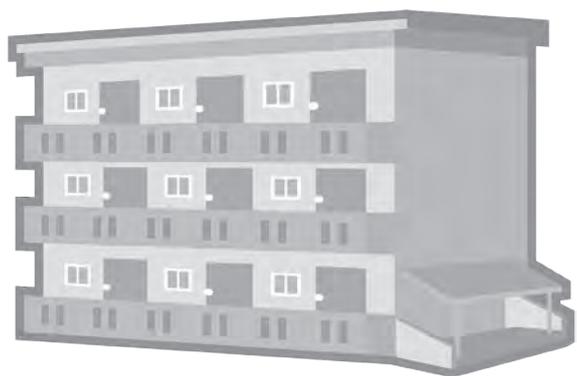
A (町長) オンデマンドの運行やライドシェアなどをうまく組み合わせながら、地域地域でその制度をつくっていくことが必要。できる部分について実証実験をやっている。早ければ、来年度あたりから予算の範囲内で区域を区切って進めていきたい。

Q 柳津町に住んでみようかと思う方たちに対する土地の提供などはどうお考えか。

A (町長) 町直営で分譲事業をやるより、民間事業者にお願ひし、採算が合わないところは、町が補助をするなど後押しをして進めていきたい。

Q 空き家を解体しその土地に新築をした場合、空き家解体補助金と新築補助金を同時に使えるようにすべきではないか。町独自に制度化すべきではないか。

A (町長) 空き家の解体補助金には、国の補助金を活用しているため条件がある。財政的なことを考えると町独自の補助事業は考えていない。



産業厚生常任委員会現地調査 — 豪雪 —

3月25日（火）産業厚生常任委員会では、地域振興課職員と共に2月に降り続いた大雪による農業用施設の被害調査を実施しました。その結果をまとめ、町に次の3点について要望をいたしました。

- ① 県に早急な支援を確定いただくこと、
- ② 農家には早急な情報提供を行い、営農再開への不安を払しょくすること
- ③ 関係機関と連携協力し、農家負担の軽減に努めること



議会モニター制度

3月26日（水）ふれあい館会議室で副議長・総務文教常任委員長と議会モニターの皆さんとの意見交換会を開催しました。議会を傍聴して感じたことや改善してほしいことなど、忌憚のない意見が出されました。



意見交換会の様子

代表監査委員の退任

代表監査委員の岩佐利昭氏が3月31日で任期満了となりました。令和3年度からの4年間、法の趣旨に基づき、適正に検査、審査を実施し、最小の経費で最大の行政効果が生まれるよう助言等をいただきました。これまでのご尽力に感謝申し上げます。



議会構成



前副議長 伊藤 純氏 逝去

前副議長 伊藤 純氏が、現職中の令和7年2月14日にご逝去されました。平成28年の初当選以来、3期9年にわたり議員活動に精励され、副議長をはじめ、産業厚生常任委員長、町監査委員など多くの要職を歴任されました。ここに生前の功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和7年第1回定例会の初日に副議長選挙が行われ、副議長が選出されました。

新副議長 就任あいさつ

このたび、第1回定例会におきまして、議員各位の御推挙を賜り副議長に就任致しました松村亮で御座います。謹んで就任のご挨拶を申し上げます。

伝統ある柳津町議会の副議長という大役を拝し、身に余る光栄であるとともに、その責任の重さを痛感しております。議長を支え、議長とともに町議会の持てる力を十分発揮できるよう尽力するとともに、議員各位と協力し、公正かつ円滑な議会運営となるよう努めて参る所存です。

昨今、激しい変化を伴い不確実性の高いVUCA時代とも呼ばれる現代社会にあって、普遍的と目されていた「町」という存在も、その構造や運営手法、価値観などの見直し、転換を余儀なくされております。従来の常識や理屈にとられることなく、時代に即した持続可能な柳津町の在り方を模索し創りあげていく上で、私としては町民の皆様との対話が今まで以上に肝要であると考えております。

町民の皆様におかれましては、議会活動に対し今後ともご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。



議会構成

令和7年3月5日一部改選

議長	齋藤 正志
副議長	松村 亮

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	磯目 泰彦	小林 浩	田崎 信二	荒明 正一	齋藤 正志
産業厚生常任委員会	松村 亮	渡邊 俊典	岩淵 清幸	新井田 順一	
広報常任委員会	新井田 順一	小林 浩	渡邊 俊典	荒明 正一	
議会運営委員会	岩淵 清幸	田崎 信二	磯目 泰彦	松村 亮	

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会の議員

田崎 信二

柳津町監査委員議会選出の議員

新井田 順一

令和6年度に行った決算審査・定期監査の結果に関する措置状況について、町長、教育長から報告がありましたので、その内容について一部を抜粋してお知らせします。

令和6年度 監査委員による指摘事項のうち措置を講じたものの調書(抜粋)

<p>【令和6年7月24日 決算審査 生涯学習課生涯学習係】 スポーツ事業については、スポーツ少年団の県大会出場などの活躍がありますが、その指導者はほとんどボランティアに等しい状況にあります。指導者が安心して子供たちの心身の健全育成を図れる環境づくりをお願いします。</p>
<p>(回答) 令和7年度より、スポーツ少年団指導者の謝金を増額するとともに、指導者資格取得・更新に要する費用の助成を実施。併せて、指導者を対象にコーチング研修を開催する予定です。</p>
<p>【令和6年10月29日 定期監査 生涯学習課生涯学習係】 地域・日本の新たなレガシー形成事業では、当町の保存食を圓藏寺等で提供するための事前調査が行われますが、現状の圓藏寺庫裡のままでは集客が困難ではないかとの不安もあります。ぜひ文化財の指定に向けた対応をされることに期待します。</p>
<p>(回答) 令和7年度より、町の文化財の利活用を目的に法定計画（文化財保存活用地域計画/文化庁）の策定に向けた調査や、圓藏寺の建物や美術工芸品等を対象とした現況調査を開始する予定です。</p>
<p>【令和6年7月20日 決算審査 町民課住民福祉係】 介護保険料の未収金は前年と比べてほぼ同額ですが、滞納者が22人から39人と増加していますので、新たな滞納者を増やさないための取り組みをお願いします。</p>
<p>(回答) 新たな滞納者については、一時的に特別徴収（年金からの天引き）から普通徴収（納付書による納付）へと切り替わった被保険者が、それに気づいていないケースが多く見受けられ、それが滞納者数の増加の一因と考えられます。ついては、納付書に同封する文書を工夫するなど納め忘れのないような取り組みを行って参ります。また、常習的な滞納者に対しては、引き続き督促・催告を行い、納めていただいている被保険者との差別化を図るため、介護（予防）サービス利用時の給付制限を行う等、適切に対応を行って参ります。</p>
<p>【令和6年10月23日 定期監査 町民課住民福祉係】 一般介護予防事業での健幸クラブ、のぞみ短期運動教室等、介護にならないための介護予防に取り組んでいますが、男性の参加割合が非常に低いので今後、男性の参加割合を高め、対象町民の多くが参加できるような取り組みに期待します。</p>
<p>(回答) 介護予防事業では、現在、地区に出向いての運動教室や要望等を取り入れた事業を行っております。その事業の参加者へ、今後取り組みたいことや要望等を男性も含め聞き取りしておりますので、その意見を踏まえ、対象者が参加しやすい事業を構築して参ります。また、男性の社会参加のためには自己啓発も必要不可欠ですので、対象者へ働きかけを行うとともに、家族や隣人等からの声かけ等を行っていただけるよう啓発を行って参ります。</p>

監査公表

【令和6年7月25日 決算審査 みらい創生課みらい創生係】

ふるさと納税については、新たに地域おこし協力隊の採用によりその成果が見られますので、今後さらなる返礼品の見直しやPRによって納税の増加につなげてください。

(回答) 地域おこし協力隊と連携し、柳津町の特産品や観光資源を活用した魅力的な返礼品の開発と選定を行い、SNSや各種メディアを通じて町のふるさと納税の魅力を積極的にPRすることで、寄付額の増加を目指しています。

【令和6年10月21日 定期監査 みらい創生課みらい創生係】

ふるさと納税については、寄付額が増加しておりますので、今後も返礼品の追加や見直しを行いながら、その増加に努めてください。空き家対策事業により危険となる空き家の除却が進んでおりますので、引き続き空き家の除却や家財道具の処分等を進めてください。住宅用新エネルギーシステム設置事業補助については、歴史的風致維持向上計画策定区域の町民からの申請があった場合の取扱いについて、事前に整理しておくことが重要ですのでよく検討してください。

(回答) ①定期的に返礼品の追加と見直しを行い、町の魅力を最大限に引き出す戦略を展開するとともに、地域の事業者と密接に連携し、新たな返礼品の開発を支援しています。また、ポータルサイトでの効果的な情報発信とターゲットを明確にした広報活動を展開し、ふるさと納税の魅力を広く伝えています。

②空き家の除却を引き続き積極的に推進し、地域の安全性と景観の改善に努めるとともに、家財道具の処分に関する支援制度を充実させ、所有者の負担を軽減します。また、地域住民や関係機関と連携し、空き家対策の更なる効率化を図ります。

③歴史的風致維持向上計画における景観や文化的要素と、新エネルギーシステムの設置要件とのバランスを慎重に検討し、関係各所との検討会を開催して、景観計画の策定に向けた取り組みを進めています。

【令和6年11月5日 定期監査 総務課税務係】

固定資産税の納税義務者の35%が町外の者ということであり、徴収には苦勞も多いと思いますが、会津地域地方税滞納整理機構と連携を図って滞納整理に努めてください。

(回答) 年々、町外の納税義務者が増加していることから、早期納付勧奨や会津地域地方税滞納整理機構と連携を図り、滞納処分を実施しています。

【令和6年7月24日 決算審査 教育課美術館係】

地域おこし協力隊が令和6年5月中に不在となりました。これまでも協力隊の各種事業により当美術館のPRに努めていただいたところです。協力隊は大きな力となっておりますので、今後は早急に新たな協力隊の確保に努めてください。

(回答) 地域おこし協力隊については、今まで大学との連携により募集を行ってきましたが、令和6年度においては、一般公募を行い広く募集を行ったことで、2名の応募があり、令和7年度は2名体制で活動できることになりました。

【令和6年10月29日 定期監査 教育課美術館係】

カレンダーの販売については、目につきやすい箇所に展示するなどの工夫により、売れ残りが出ないように努めてください。

(回答) 美術館のショップのみならず、役場内にもカレンダーの販売案内を行うなど、多くの方の目に触れる場所への掲示を行いました。また、町内の関係施設へもカレンダーを配布し、町民の方にも広く周知を行うことにしました。

— 議会の動き (令和6年第4回定例会以降) —

- 12月19日 年末年始の交通事故防止・地域安全運動夜間パトロール (議長)
- 25日 県道会津高田柳津線・赤留塔寺線整備促進期成同盟会県要望 (議長、産厚委員長)
- 26日 広域市町村圏整備組合議会臨時会 (広域議員)
- 1月5日 町民年頭賀詞交歓会 (議長ほか)
- 11日 町消防団出初式 (議長、総文委員長、広域議員)
- 15日 会津を拓く講演会 (議長ほか)
- 20日 議会全員協議会、第1回臨時会
- 22日 只見町議会運営委員会行政視察来町 (議会運営委員、議長)
- 26日 交通安全祈願祭 (議長)
- 2月1日 第45回会津やないづ冬まつり (議長ほか)
- 5日 会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会 (広域議員)
- 21日 全員協議会
- 21日 会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会 (広域議員)
- 26日 議会運営委員会 (議会運営委員、議長)
- 26日 県町村議会議長会定期総会 (議長)



1月15日 会津を拓く講演会の様子
鐵道を活用した地域活性化について(講師:大井川鐵道 鳥塚社長)



1月22日 只見町議会運営委員会行政視察来町の様子
議会の運営について意見交換を行いました

次回定例会のお知らせ

6月4日(水)～6月6日(金)

《6月4日 午前10時開会》

令和7年 第2回定例会

- ・初日は「一般質問」を行います。
- ・ゆきげ館とふれあい館でテレビ傍聴できます。



ちよっと一言

初夏の風が心地よい
今日この頃。衣替えの
時節を迎え、人々や風
景の装いに段々と夏らしさが感
じられるようになってまいりま
した。皆さま、いかがお過ごし
でしょうか。

さて、本県では令和8年度に
「ふくしまステイネーション
キャンペーン」(以降DC)を
控え、現在県内各所において
「フレDC」が実施され、国内
外多くの方が訪れております。
当町でも様々な取り組みをさ
れ、交流人口拡大や観光振興に
寄与されていることに対し、関
係各位に深く敬意を表するこ
ろであります。

一人でも多くの方に知ってい
ただき、訪れていただき、地元
住民の温かさに触れていただ
き、何より柳津町を好きになっ
ていただければなと心から願っ
ております。

結びになりますが、これから
暑さが増してきます。くれぐれ
もお身体ご自愛下さいませ。

(松村 亮)

広報常任委員会

委員長	新井田 順一
副委員長	小 林 順一
委員	荒 渡 明正
	渡 邊 俊典
	明 正 一典